

事業評価について

議題3

(この評価結果を踏まえ、「地域公共交通確保維持改善事業・事業評価」を作成し、北陸信越運輸局へ提出します。)

【平成28年度】地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通ネットワーク計画に基づく事業）

補助対象事業者等	事業概要	昨年度に提案した改善点	前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映	事業実施の適切性	目標・効果達成状況	事業の今後の改善点（特記事項を含む）
事業者名：新潟交通観光バス㈱ 運行系統名：村上市まちなか循環バス（小回り循環）	村上地域内	地元利用者により親しみやすく乗車してもらうために車内環境の整備と、時刻表の配布促進等の情報発信に注力する。	村上小学校、村上南小学校、の2校で4年生に対し、乗り方教室を実施。環境保全の重要性と公共交通の必要性を啓発した。特典として市内施設の無料券及び児童へのバス無料券を発行した。バス車内における小学生の絵やお祭りにかかわる写真の展示をし、車内環境の整備を行った。情報発信として、時刻表（ガイド）の表紙の色合いを変更しより目立つ工夫を凝らし旅館等に配布した。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 計画に位置付けた目標 42 人/日 実績 43.9 人/日	高齢者や重い荷物を持った方にも利用しやすいように、新型車両導入を進める。また時刻表の沿線地域（旧村上市街）を中心とした全戸配布等の情報発信に注力する。
事業者名：新潟交通観光バス㈱ 運行系統名：村上市まちなか循環バス（大回りー小回り循環）	村上地域内					
事業者名：新潟交通観光バス㈱ 運行系統名：村上～馬下～寒川 線	村上～馬下～寒川	学生支援を考慮に入れつつ、一般利用者誘客のため引き続きPRに努める。JRダイヤとの接続を重視して利便性の向上に努める。	新規利用、認知度の上昇のために、村上駅前で学割のPRを兼ねたチラシ配りやポスターデザインの調査を行った。JRのダイヤ改正に合わせて時刻表の調整を行った。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 計画に位置付けた目標 14 人/日 実績 14.7 人/日	学生への周知に加え、沿線住民の方へのPRを強化していく。引き続きJRダイヤとの接続に配慮し利便性の向上に努める。
事業者名：新潟交通観光バス㈱ 運行系統名：村上市せなみ巡回バス	村上地域内	地域の認知度が上がってきているので、初めての人でも分かりやすいようなガイドの配布を行う等、引き続き啓発活動に力を入れる。	沿線の瀬波小学校で4年生に対し、乗り方教室を実施。公共交通の必要性を啓発した。特典として市内施設の無料券及び児童へのバス無料券を発行した。情報発信として、時刻表（ガイド）の表紙の色合いを変更しより目立つ工夫を凝らし旅館等に配布した。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 計画に位置付けた目標 12 人/日 実績 17.1 人/日	より多くの地元の方々に利用してもらえよう、大判の時刻表の全戸配布を行う等、利用率上昇が図れるような啓発活動に力を入れる。
事業者名：新潟交通観光バス㈱ 運行系統名：村上～猿沢～北中 線	村上～猿沢～北中	学生支援を考慮に入れつつ、一般利用者誘客のため引き続きPRに努める。JRダイヤとの接続を重視して利便性の向上に努める。	新規利用、認知度の上昇のために、村上駅前で学割のPRを兼ねたチラシ配りやポスターデザインの調査を行った。JRのダイヤ改正に合わせて時刻表の調整を行った。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 計画に位置付けた目標 25 人/日 実績 39.4 人/日	学割の効果が高いことから、学生支援を主に考え、JRダイヤとの接続を重視して利便性の向上に努める。

○各運行系統に共通する今後の対応：利用促進に向けた情報発信の充実やニーズの調査、検証を継続していきます。

○利用者等の意見の反映：山北まちづくり協議会、地区区長を通し、利用者や関係者の意見を聞き取りました。